

○我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、様々な情報を効果的に調べよめる技能を身に付けるようにする。  
 ○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、課題解決に向け思考・判断する力を付ける。  
 ○社会的事象について課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、国民主権を担う公民としての自覚を深める。

月	単元・題材名	時数	学習内容			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	【世界と日本の地域構成】 ○世界の姿  ○日本の姿	10	<p>&lt;世界の姿&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 私たちの住む地球を眺めて</li> <li>2 いろいろな国の国名と位置</li> <li>3 緯度と経度</li> <li>4 地球儀と世界地図の違い</li> </ol> <p>&lt;日本の姿&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 世界の中で日本の位置</li> <li>2 時差でとらえる日本の位置</li> <li>3 日本の領域とその特色</li> <li>4 都道府県と県庁所在地</li> <li>5 世界の姿と日本の姿のまとめ</li> </ol>	<p>・六大陸三大洋、六つの州の位置や名前、分布を理解しているとともに、地球儀や世界地図を使って六大陸や三大洋、六つの州の位置を示すことができる。</p> <p>・さまざまな国の面積、形、人口、国旗などを理解するとともに、学習した国を白地図などを活用して主体的に整理しまとめている。</p> <p>・緯度や経度を使った日本の位置を理解するとともに、さまざまな地図を活用して、世界からみた日本の位置を読み取ったり、示したりすることができる。</p> <p>・都道府県や県庁所在地の名称が決まった経緯を理解するとともに、都道府県名と県庁所在地名との関係をもとに調べよめることができる。</p>	<p>・さまざまな国の面積、形、人口、国旗などに着目して、世界の地域構成を多面的・多角的に考察している。</p> <p>・地球儀と世界地図の違いが生じる理由や世界地図の正確な点や活用方法などについて多面的・多角的に考察している。</p> <p>・日本とおもな国々(都市)の時差による違いや配慮などを多面的・多角的に考察する。</p> <p>・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
6・7	【世界の様々な地域】 ○人々の生活と環境	10	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 世界のさまざまな生活と環境</li> <li>2 暑い地域の暮らし</li> <li>3 乾燥した地域の暮らし</li> <li>4 温暖な地域の暮らし</li> <li>5 寒い地域の暮らし</li> <li>6 高地の暮らし</li> <li>7 世界各地の衣食住とその変化</li> <li>8 人々の生活と宗教の関わり</li> <li>9 人々の生活と環境  まとめ</li> </ol>	<p>・雨温図を活用して世界の気候区分とその特色を調べてまとめ、その結果を理解している。</p> <p>・雨温図や景観写真からインドネシアの気候や人々の生活の特色を適切に読み取り、インドネシアの気候や暑い地域での人々の生活の特色について理解している。</p> <p>・雨温図や景観写真からスペインでの人々の生活の特色を適切に読み取り、スペインの気候や温暖な地域での人々の生活の特色について理解している。</p> <p>・景観写真や資料図などから世界各地の衣食住の特色を読み取り、世界の地域ごとに衣食住の特色を理解している。</p>	<p>・景観写真から得られた情報をもとにその地域の地域特色を多面的・多角的に考察している。</p> <p>・水を得るための開発による生活の変化や、新たな課題について、多面的・多角的に考察している。</p> <p>・外国文化の流入による生活の変化について、多面的・多角的に考察している。</p> <p>・現代化と観光化による人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察している。</p> <p>・世界各地の宗教とその地域の生活の特色との関連性を多面的・多角的に考察している。</p>	<p>・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>・世界各地の人々の衣食住とその変化、生活と宗教の関わりについて、身近な私たちの生活と比較したり関連付けたりしながら、世界各地の人々とのかわり方について、主体的に追究しようとしている。</p>
			<p>1学期 評価方法・評価場面</p> <p>A 80%以上</p> <p>B 50%以上</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○レポート</p> <p>○小テスト</p> <p>○定期テスト</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○グループ活動</p> <p>○レポート</p> <p>○発表学習</p> <p>○小テスト</p> <p>○定期テスト</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○グループ活動</p> <p>○レポート</p> <p>○発表学習</p> <p>○小テスト</p> <p>○定期テスト</p>
9	○世界の諸地域「アジア州」  ○世界の諸地域「ヨーロッパ州」	13	<p>&lt;アジア州&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アジア州の自然環境</li> <li>2 アジア州の農業・文化と経済発展</li> <li>3 経済発展を急速に遂げた中国</li> <li>4 最も近い隣国、韓国</li> <li>5 経済発展を目指す東南アジア</li> <li>6 産業の発展と人口増加が急速に進む南アジア</li> <li>7 資源が豊富な中央アジア・西アジア</li> </ol> <p>&lt;ヨーロッパ州&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ヨーロッパ州の自然環境</li> <li>2 ヨーロッパ文化の共通性と多様性</li> <li>3 EUの成り立ちとその影響</li> <li>4 ヨーロッパの農業とEUの影響</li> <li>5 ヨーロッパの工業とEUの影響</li> <li>6 EUが抱える課題</li> </ol>	<p>・アジア州を地域区分し、自然環境に関するそれぞれの特色を理解するとともに、雨温図や景観写真などから雨季と乾季の違いやそれぞれの特色を調べよめることができる。</p> <p>・中国の急速な経済発展や地域の変化についてその特色を理解するとともに、さまざまな資料を活用して中国の急速な経済発展と地域の変化との関連について調べよめることができる。</p> <p>・東南アジアの工業化の実態について理解するとともに、新旧の統計資料を比較して外国企業の進出増加や輸出品目の高度化について調べよまとめている。</p> <p>・西アジアや中央アジアの経済成長について理解するとともに、資源生産や輸出の特色や変化について調べよまとめている。</p> <p>・位置や分布に着目しながら、ヨーロッパ州の宗教や言語・民族などの共通性や多様性を調べよまとめている。</p> <p>・緯度や気候に着目して、ヨーロッパ州の農業の特色を調べよまとめている。</p> <p>・EU域内での経済格差に着目して、EUで発生している課題を調べよまとめている。</p>	<p>・年間降水量の違いと農業分布との違いを関連付けてその特色を考察するとともに、人口集中と経済発展とを関連づけてその特色を考察することができる。</p> <p>・韓国の生活・文化や社会と産業の変化について、韓国と日本との関わりに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>・インドでICT関連産業が急速に発達した理由や貧困層に関する課題を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。</p> <p>・地球上におけるヨーロッパの位置に着目しヨーロッパの気候が温暖である理由について多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>・ヨーロッパ州の国境をこえた結び付きに着目しながら、人々の生活にどのような変化が見られたのかを多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>・EU域内での経済格差に着目しながらそれぞれの立場の主張を考えさせるとともに、課題を乗り越えた新しいEUのあり方について多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p>	<p>・人口増加と急速な経済発展を中心に、アジア州に暮らす人々に与える影響やそれによって生じる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>・日本との比較をまじえながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を意図的に追究しようとしている。</p>
11・12	○世界の諸地域「アフリカ州」  ○世界の諸地域「北アメリカ州」	10	<p>&lt;アフリカ州&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 アフリカ州の自然環境</li> <li>2 アフリカの歴史と文化</li> <li>3 特定の輸出品に頼るアフリカの経済</li> <li>4 アフリカが抱える課題とその取り組み</li> </ol> <p>&lt;北アメリカ州&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 北アメリカ州の自然環境</li> <li>2 移民の歴史と多様な民族構成</li> <li>3 大規模な農業と多様な農産物</li> <li>4 世界をリードする工業</li> <li>5 アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題</li> </ol>	<p>・アフリカ州の地形や気候の特色を理解するとともに、地図や雨温図を活用して、アフリカ州の地形や気候の特色を調べよまとめている。</p> <p>・アフリカの産業の実態やモルカチャー経済について理解するとともに、アフリカ諸国におけるおもな輸出品の変化のグラフなどからアフリカ諸国の変化と努力について調べよまとめている。</p> <p>・北アメリカ州の民族構成や地域分布、多様な文化について理解するとともに、さまざまな資料からアメリカ合衆国の移民や開拓の歴史、民族構成の特色について調べよまとめている。</p> <p>・アメリカ合衆国の工業の特色を、重工業から先端技術産業への変化に着目して理解するとともに、鉱工業の分布図を活用してアメリカ合衆国の工業の特色を五大湖周辺、太平洋沿岸、南部地域に分けて調べよまとめている。</p>	<p>・アフリカ連合(AU)の発足によるアフリカ諸国の人々の生活の変化や課題について多面的・多角的に考察している。</p> <p>・自国の取り組みや他国からの支援に着目しながらアフリカ州が自立するための方策を多面的・多角的に考察している。</p> <p>・西経100度線に着目して北アメリカ州を東西に分けてそれぞれの気候や地形の特色を多面的・多角的に考察している。</p> <p>・巨大企業による生産・輸出の形態や北アメリカ州の農業が世界の農業に与える影響の大きさや課題について多面的・多角的に考察している。</p> <p>・大型ショッピングセンターや大手ハンバーガーチェーンを事例として世界中に広がる文化とその影響やこれまでの大量生産大量消費の在り方を直視し、持続可能な社会を実現するための方策について多面的・多角的に考察することができる。</p>	<p>・モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカ州の地域的特色に関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。</p> <p>・大規模農業や適地適作などの北アメリカ州の農業の特色や課題について主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p>・世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化について主体的に追究し、課題を解決しようとしている。</p>
			<p>2学期 評価方法・評価場面</p> <p>A おおむね80%以上</p> <p>B おおむね50%以上</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○レポート</p> <p>○小テスト</p> <p>○定期テスト</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○グループ活動</p> <p>○レポート</p> <p>○発表学習</p> <p>○小テスト</p> <p>○定期テスト</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○グループ活動</p> <p>○レポート</p> <p>○発表学習</p> <p>○小テスト</p> <p>○定期テスト</p>

月	単元・題材名	時数	学習内容			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
2・3	○世界の諸地域「南アメリカ州」  ○世界の諸地域「オセアニア州」	7	<p>&lt;南アメリカ州&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>南アメリカ州の自然環境</li> <li>多様な民族・文化と人々の生活</li> <li>大規模化する農業と成長する工業</li> <li>ブラジルにみる開発と環境保全</li> </ol> <p>&lt;オセアニア州&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>オセアニア州の自然環境</li> <li>移民の歴史と多文化社会への歩み</li> <li>他地域と結び付いて発展する産業</li> </ol>	<p>・南アメリカ州の自然環境の特色について理解するとともに、地図を活用して、平原や草原、山脈や高原の分布を読み取りまとめている。</p> <p>・南アメリカ州の農業や工業の発展の特色について理解するとともに、ブラジルなどを例にして農業開発や資源開発によって南アメリカの国々がモノカルチャー経済から脱却し発展したことを調べまとめている。</p> <p>・オーストラリアにおけるヨーロッパの影響と多文化社会への転換について理解するとともに、さまざまな景観写真からオセアニアの生活や文化に対するイギリスの影響を読み取りまとめている。</p>	<p>・南アメリカ州の文化の成り立ちをスペインやポルトガルに進出と植民地時代の歴史の影響と関連付けながら考察するとともに、その変化や課題について多面的・多角的に考察している。</p> <p>・開発と環境保全との持続発展的な面立や環境保全をめぐる新たな課題について多面的・多角的に考察している。</p> <p>・オーストラリア大陸の都市や人口の分布の特色を地形や気候の特色と関連付けて多面的・多角的に考察しているとともに、ツバルの海面上昇の問題やその解決について多面的・多角的に考察している。</p> <p>・オーストラリアの輸出品の変化からオーストラリアの産業の変化や発展をアジアとの結びつきに着目して多面的・多角的に考察している。</p>	<p>・多民族の共存や近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発の地域に対する影響を主体的に追究し、解決しようとしている。</p> <p>・広大な海洋を背景に展開される生活や、オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
3	○世界の諸地域のまとめ  【日本の様々な地域】 ○身近な地域の調査	10	<p>&lt;各州のまとめ&gt;</p> <p>各州の振り返り テーマ学習</p> <p>&lt;身近な地域の調査&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>調査テーマを決めよう</li> <li>調査方法を考えよう</li> <li>野外調査を実行しよう</li> <li>調査を深めて結果を発表しよう</li> </ol>	<p>・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解している。</p> <p>・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。</p> <p>①地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。</p>	<p>・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>・地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
		60	<p>3学期 評価方法・評価場面</p> <p>A 80%以上</p> <p>B 50%以上</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○レポート</p> <p>○小テスト</p> <p>○定期テスト</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○レポート</p> <p>○小テスト</p> <p>○定期テスト</p> <p>○グループ活動</p> <p>○発表学習</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○レポート</p> <p>○小テスト</p> <p>○定期テスト</p> <p>○グループ活動</p> <p>○発表学習</p>

社会(1年) 歴史的分野 R5 年間指導・評価計画

教科の目的

○我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、様々な情報を効果的に調べよめる技能を身に付けるようにする。  
 ○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、課題解決に向け思考・判断する力を付ける。  
 ○社会的事象について課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、国民主権を担う公民としての自覚を深める。

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
5	○歴史へのとびら	4	1 時期や年代の表し方 2 歴史の流れのとらえ方 3 時代の特色のとらえ方 4 テーマを決めて調査・考察しよう 5 まとめ発表しよう	・資料から歴史に関わる情報を読み取り、年表などにまとめることができる。 ・様々な手段で地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などに適切にまとめている。	・時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりに着目して、小学校での学習を踏まえて歴史上の人物や文化財、出来事などを、時代区分との関わりなどについて考察し、表現している。 ・比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	・歴史の表現方法や歴史的新発見・考え方について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
5 6	○世界の古代文明と宗教のおこり ○日本列島の誕生と大陸との交流	8	<世界の古代文明と宗教のおこり> 1 人類の出現と進化 2 古代文明のおこりと発展 3 中国文明の発展 4 キリシヤ・ローマの文明 5 宗教のおこりと三大宗教 <日本列島の誕生と大陸との交流> 1 旧石器時代と縄文時代の暮らし 2 弥生時代の暮らしと邪馬台国 3 大王の時代	・人類の進化の過程や、人々の生活の変化を理解している。 ・中国の古代文明について、殷から漢までの大きな流れを理解している。 ・写真資料などを通して、ヘレニズムの文化がインド・中国・日本の美術に影響を与えたことを理解している。 ・様々な資料から、日本列島で狩猟・採集の生活を行っていた人々の生活の特徴について理解している。 ・大和政権の国内統一の過程を、古墳の分布や鉄剣などの資料を通して理解している。	・古代文明がおこった地域の特徴について、成立した位置や場所などの共通点に着目して考察し、表現している。 ・ギリシヤ・ローマ文明の特徴について、現代ヨーロッパとの共通点に着目して考察し、表現している。 ・三大宗教が成立した地域が、西アジアやインドなど、古代文明が発展した地域と重なっていることを考察し、表現している。	・世界の古代文明や宗教のおこりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・日本列島における国家形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
7	○古代国家の歩みと東アジア世界	9	1 聖徳太子の政治改革 2 東アジアの緊張と律令国家への歩み 3 律令国家の成立と平城京 4 奈良時代の人々の暮らし 5 天平文化 6 平安京と律令国家の変化 7 摂関政治の時代 8 国風文化 9 古代までの日本のまとめ	・聖徳太子や蘇我氏が行った政治の特色を理解している。 ・大化の改新と、その後の律令国家への展開を理解している。 ・律令制度による古代国家の仕組みを理解している。 ・桓武天皇の行った政治の目的、内容などについて理解している。 ・10世紀に、摂関政治や土地制度など政治の在り方が変化したことを理解している。	・聖徳太子などの政治の特色について、隋との関係に着目して、その影響を受けたことを考察し、表現している。 ・律令国家を目指す国内の情勢を、中国や朝鮮半島の動きに関連付けて考察し、表現している。 ・奈良時代の人々の生活について、税や土地制度の変化と関連付けて考察し、表現している。 ・天平文化の特色について、遣唐使により大陸からの文物が多くもたらされたことと関連付けて考察し、表現している。	・律令国家の形成、古代の文化と東アジアとの関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
			1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	○ワークシート ○レポート ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト						
10	○武士の政権の成立	5	1 武士の成長 2 院政から武士の政権へ 3 鎌倉幕府の成立と執権政治 4 武士と民衆の生活 5 鎌倉時代の文化と宗教	・武士の成長の過程を、導入資料などから読み取っている。 ・源義経などの人物を中心に、源平の争いの経過について理解している。 ・鎌倉時代の農業技術や手工業・商業の発達と、それに伴う生活の向上について理解している。	・鎌倉幕府の特色について、将軍と御家人の関係や幕府と朝廷の関係に関連付けて考察し、表現している。 ・鎌倉時代の文化や宗教の特色について、文化の担い手の変化に関連付けて考察し、表現している。	・武家政治の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
10 11	○ユーラシアの動きと武士の政治の展開	9	1 モンゴル帝国とユーラシア世界 2 モンゴルの襲来 3 南北朝の動乱と室町幕府 4 東アジアとの交流 5 産業の発達と民衆の生活 6 応仁の乱と戦国大名 7 室町文化とその広がり 8 中世のまとめ 9 古代までの日本との比較	・守護が新たな権限を与えられて守護大名となり、後の政治に影響を及ぼしたことを理解している。 ・日明貿易の様子、中継貿易で栄えた琉球や蝦夷地の動きなど、東アジアの人々との交流や結び付きを理解している。 ・武家文化と公家文化の融合など、室町時代の文化の特色を捉えている。	・モンゴル帝国がユーラシア世界に及ぼした影響を、大陸の一体化とその影響に関連付けて考察し、表現している。 ・モンゴルの襲来と日本への影響について、御家人の動きと関連付けて考察し、表現している。 ・建武の新政から南北朝の動乱に至る経過と、動乱がもたらした武士社会の変化を考察し、表現している。 ・応仁の乱による社会の変化について、分国法や城下町などを、これまでの支配の在り方との違いに関連付けて考察し、表現している。 ・中世の日本に戦乱が多かった理由を、産業の発達と関連付けて考察し、表現している。	・ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
			2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	○ワークシート ○レポート ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト						
1 2	○ヨーロッパ人との出会いと全国統一	10	1 中世ヨーロッパとイスラム世界 2 ルネサンスと宗教改革 3 ヨーロッパ世界の拡大 4 ヨーロッパ人との出会い 5 織田信長・豊臣秀吉による統一事業 6 織田信長・豊臣秀吉による統一事業2 7 太閤検地と刀狩りの意義 8 兵農分離による影響と朝鮮侵略 9 桃山文化 10 ヨーロッパ人との出会いとその影響のまとめ	・中世のヨーロッパ世界と同時期のイスラムの世界の成立と、両者の関係を理解している。 ・ルネサンスと宗教改革がヨーロッパ世界に及ぼした変化を理解している。 ・ヨーロッパの様々な文化やキリスト教が、日本社会に広まっていく様子を理解している。 ・織田信長と豊臣秀吉による統一事業の過程を理解している。 ・ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解している。 ・豊臣秀吉がキリスト教の信仰自体は禁止せず、貿易を続けていたことを理解している。	・ヨーロッパ人がアジアを目指した理由を考察し、表現している。 ・織田信長の政策が商業を発達させたことを考察し、表現している。 ・兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、中世の社会と比較して考察し、表現している。 ・桃山文化の特色を、生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力、中世の文化の継承などの視点から考察し、表現している。	・世界の動きと統一事業について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
		45	3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	○ワークシート ○レポート ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト						

○我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、様々な情報を効果的に調べるとする技能を身に付けるようにする。  
 ○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、課題解決に向け思考・判断する力を付ける。  
 ○社会的事象について課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、国民主権を担う公民としての自覚を深める。

月	単元・題材名	時数	学習内容			
			知識・技能	思考・判断・表現		
4	○日本の地域的特色	8	1 日本の人口 2 日本の資源・エネルギーと電力 3 日本の農業・林業・漁業の変化 4 日本の工業とその変化 5 日本の商業・サービス業 6 世界と日本の交通・通信網	・分布図や人口ピラミッドを活用して、日本の人口分布や年齢別人口構成の特色を適切に読み取り、日本の人口分布や年齢別人口構成の特色や課題を理解している。 ・さまざまな資料から、東日本大震災での原子力発電所の事故以来、変化してきている日本の資源やエネルギーに関する考え方を適切に読み取り、日本の資源・エネルギーと電力の現状や課題を理解している。 ・さまざまな資料から日本の農業地域の分布や各地方の農業生産の特色や課題を適切に読み取り日本の農業・林業・漁業の特色を理解している。 ・工業出荷額の内訳を示す統計資料から日本のおもな工業地帯・工業地域の特色を適切に読み取り、日本の工業の変化や課題を理解している。 ・さまざまな資料から、商業やサービス業での成長分野を適切に読み取り、日本の商業・サービス業の現状と課題を理解している。 ・さまざまな資料から、交通網や通信網が発達することによっておこった、世界や日本の地域間の結びつきの変化を適切に読み取り、世界や日本の地域間の結びつきの変化や特色を理解している。	・日本が少子高齢社会になったことが人々の生活に及ぼす影響について多面的・多角的に考察している。 ・日本における資源の有効活用や持続可能な社会の実現に向けてのエネルギー活用について多面的・多角的に考察している。 ・海外との競争や従事者の高齢化や後継者不足などの課題解決を多面的・多角的に考察している。 ・日本の工場や企業の立地が変化する理由や日本の企業が海外に進出する理由を多面的・多角的に考察している。 ・テレビやインターネットを利用した無店舗販売や情報通信技術(ICT)関連産業が急速に拡大することによっておこる社会の変化や影響について多面的・多角的に考察している。 ・世界や日本の地域間の結びつきが強まったことによる利点や問題点をそれぞれ多面的・多角的に考察している。	・日本の地域的特色について、よりよい社会の実現を視野にそでで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 ・系統的に見た日本の地域的特色や課題、これからの日本の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
5	○日本の諸地域「九州地方」	6	<九州地方> 1 九州地方の自然環境 2 火山と共にある人々の生活 3 自然を生かした九州地方の農業 4 都市や産業の発展と自然環境 5 南西諸島の自然環境と人々の生活や産業 6 九州地方のまとめ	・地図や雨温図などから、自然環境を視点とした九州地方の特色を大まかに読み取り、九州地方の都道府県や地形の位置と名称を理解している。 ・さまざまな資料から九州地方における火山の恵みや被害の実態について適切に読み取り、九州地方の自然環境を生かした産業や、災害、防災への取り組みなどを理解している。 ・さまざまな資料から九州地方の自然環境と農業との関連について適切に読み取り、九州南部の畜産やシラス台地での畑作、北部での稲作の実態を理解している。 ・地図やその他の資料からアジアに近いことで都市や工業が発達してきた実態を適切に読み取り、アジアに近いという立地から原燃料が調達しやすいことで発達した九州の工業について理解している。 ・さまざまな資料からアジアに近いという位置と独自の文化や生活の発展との関連を適切に読み取り、アジアとの交流の歴史や軍事基地のある地域での生活について理解している。	・温暖な気候や火山が多い地形、アジアに近いという位置の特色から、九州地方の人々の生活を大まかに考察している。 ・火山のめぐみや被害の実態をもとに、九州地方の人々の生活向上について多面的・多角的に考察している。 ・温暖な気候や火山との関連などの自然環境を生かした農業の特色について、多面的・多角的に考察している。 ・アジアに近いという自然環境を生かした都市の発達や工業の特色について、多面的・多角的に考察している。 ・世界やアジアにおける南西諸島の位置や歴史が独特の文化や生活をつくりだしていることについて多面的・多角的に考察している。	・九州地方の自然環境と生活、産業との関係について関心をもち、九州地方の特色を主体的に追究しようとしている。 ・九州地方の地域的特色や九州地方の課題、これからの九州地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
6	○日本の諸地域「中国・四国地方」	5	<中国・四国地方> 1 中国・四国地方の自然環境 2 瀬戸内海の海運と工業の発展 3 交通網を生かして発展する農業 4 人々を呼び寄せる地域の取り組み 5 中国・四国地方のまとめ	・雨温図を活用して、山陰、瀬戸内、南四国の気候の特色を適切に読み取り、中国・四国地方の地形や気候の特色を理解している。 ・さまざまな資料から、海上交通の利点を生かした瀬戸内地域の工業の特色を理解している。 ・さまざまな資料から、他地域との結びつきを生かして全国展開を進めている瀬戸内や南四国の農業の実態を適切に読み取り、瀬戸内や南四国の農業の特色を理解している。 ・さまざまな資料から山陰地域のさまざまな地域おこしの実態を適切に読み取り、山陰地域で行われている観光を中心とした取り組みを理解している。	・瀬戸内が温暖で降水量が少ない理由を地形の特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ・交通網の整備によって他地域と結びついたことによる利点や問題点を多面的・多角的に考察している。 ・海外とつながることによる瀬戸内地域の工業の利点や課題を多面的・多角的に考察している。 ・海外や他地域との競争が激しくなる中で行われる地域の努力や工夫を多面的・多角的に考察している。 ・過疎化が進む山陰地域の持続発展について、交通網の整備と観光業を中心に多面的・多角的に考察している。	・中国・四国地方の歴史や地形、他地域との結びつきに関心をもち、それを主体的に追究している。 ・中国・四国地方の地域的特色や中国・四国地方の課題、これからの中国・四国地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
			1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	○ワークシート ○レポート ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト
7.8	○日本の諸地域「近畿地方」	6	<近畿地方> 1 近畿地方の自然環境 2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み 4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全 5 環境に配慮した林業と漁業 6 近畿地方のまとめ	・地図や雨温図から近畿地方の地形や気候の特色を適切に読み取り、近畿地方の地形や気候の特色を理解している。 ・琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏の生活や環境保全の取り組みなどを適切に読み取り、京阪神大都市圏の生活を支える水源としての琵琶湖の重要性について理解している。 ・さまざまな資料から阪神工業地帯の現状や課題を適切に読み取り、阪神工業地帯の環境問題や環境保全の取り組みを理解している。 ・さまざまな景観写真から歴史的景観を守るための工夫や努力を適切に読み取り、京都や奈良の歴史的景観を守るさまざまな取り組みを理解している。	・南部、中央部、北部の特色を地形や気候の特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ・琵琶湖の水質汚濁に対する原因や影響、対策などについて多面的・多角的に考察している。 ・大企業や中小企業に関する環境保全についての課題やその解決を多面的・多角的に考察している。 ・地域で生活する人々の利便性を守りながら歴史と伝統を守るという地域の持続発展について多面的・多角的に考察している。 ・林業や漁業と環境保全との関連や持続発展に向けての取り組みについて多面的・多角的に考察している。	・自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた近畿地方の地域的特色に関心をもち、自然環境や人々の生活、産業などと関連させながら、主体的に追究している。 ・近畿地方の地域的特色や近畿地方の課題、これからの近畿地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。
9・10	○日本の諸地域「中部地方」	6	<中部地方> 1 中部地方の自然環境 2 中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏 3 東海で発達する様々な産業 4 内陸にある中央高地の産業の移り変わり 5 雪を生かした北陸の産業 6 中部地方のまとめ	・雨温図を活用して、東海、中央高地、北陸の気候の特色を適切に読み取り、中部地方の地形や気候の特色を理解している。 ・さまざまな資料から中京工業地帯や東海工業地域の特色を適切に読み取り、中京工業地帯や東海工業地域の特色を理解している。 ・さまざまな資料から都市向けの農業が発達してきたことを適切に読み取り、抑制栽培や園芸産業について理解している。 ・さまざまな資料から中央高地の産業の変化を適切に読み取り、中央高地の産業の特色を理解している。 ・さまざまな資料から北陸で稲作や地場産業がさかんな実態を適切に読み取り、豪雪と北陸の産業とのかかわりを理解している。	・東海、中央高地、北陸の生活のようすを地形や気候の特色や違いと関連づけて多面的・多角的に考察している。 ・歴史的背景や大手企業の立地に着目しながら東海で輸送機械工業がさかんな理由を多面的・多角的に考察している。 ・気候や交通網の発達、大都市との位置関係などに着目しながら都市向けの農業が発達した理由を多面的・多角的に考察している。 ・中央高地の産業の変化を、社会の変化や自然環境の特色と関連付けて多面的・多角的に考察している。 ・日本有効の豪雪地帯であるという特色に着目しながら、北陸で稲作や地場産業がさかんな理由を多面的・多角的に考察している。	・産業の視点からみた中部地方の特色に関心をもち、自然環境や人々の生活と関連させながら、主体的に追究している。 ・中部地方の地域的特色や中部地方の課題、これからの中部地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。

月	単元・題材名	時数	学習内容			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
11 ・ 12	○日本の諸地域 「関東地方」	7	<p>&lt;関東地方&gt;</p> <p>1 関東地方の自然環境</p> <p>2 多くの人々が集まる首都、東京</p> <p>3 東京大都市圏の過密問題とその対策</p> <p>4 人口の集中と第3次産業の発展</p> <p>5 臨海部から内陸部へ移行工場</p> <p>6 大都市周辺や山間部の過疎問題</p> <p>7 関東地方のまとめ</p>	<p>・地図や景観写真、雨温図などを活用して、関東地方の地形や気候の特色を調べ、まとめている。</p> <p>・首都であり、多くの人々が集まる東京の特色を調べ、まとめている。</p> <p>・東京大都市圏の拡大の特色や課題を調べ、まとめている。</p> <p>・人口が集中することによって発展した産業の特色や課題を調べ、まとめている。</p> <p>・京浜工業地帯、京葉工業地帯、北関東工業地域の特色を調べ、まとめている。</p> <p>・近郊農業の発達や利点について調べ、まとめている。</p>	<p>・内陸と沿岸とに分けて異なる地形や気候の特色について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>・昼夜間人口の違いに着目し、特に東京の中心部が果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・人口が集中することで発生した都市問題とその解決について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・人口が集中する地域で第3次産業がさかんになる理由や課題の解決を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・関東地方の工業の発展や移り変わりとその課題を人口の変化や市街地の拡大に着目しながら多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・Uターンやターンなどの近年みられる新しい動向に着目しながら、山間部で深刻化する過疎問題の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>・地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追求しようとしている。</p> <p>・関東地方の地域的特色や関東地方の課題、これからの関東地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。</p>
			<p>2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上</p>	<p>○ワークシート ○レポート ○小テスト ○定期テスト</p>	<p>○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト</p>	<p>○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト</p>
12 ・ 1	○日本の諸地域 「東北地方」	6	<p>&lt;東北地方&gt;</p> <p>1 東北地方の自然環境</p> <p>2 伝統行事と生活・文化の変化</p> <p>3 稲作と畑作に対する人々の工夫や努力</p> <p>4 果樹栽培と水産業における人々の工夫や努力</p> <p>5 工業の発展と人々の生活の変化</p> <p>6 東北地方のまとめ</p>	<p>・地図や雨温図から東北地方の地形や気候の特色を適切に読み取り、東北地方の地形や気候の特色を理解している。</p> <p>・さまざまな資料から、農業と祭りや交通網と観光業とのかかわりを適切に読み取り、東北地方の祭りや観光業の特色について理解している。</p> <p>・さまざまな資料から、東北地方の農業の特色を適切に読み取り、東北地方の稲作や畑作の実態や工夫を理解している。</p> <p>・さまざまな資料から、果樹栽培や漁業と人々の生活とのかかわりについて適切に読み取り、東北地方での果樹栽培や漁業の特色について理解している。</p> <p>・さまざまな資料を関連付けて、交通網の発達と工業の発達との関連を適切に読み取り、工業の発達がもたらした人々の生活の変化について理解している。</p>	<p>・地形や気候などに着目し、東北地方の自然環境の特色を多面的・多角的に考察している。</p> <p>・観光業を活用した東北地方の発展や復興について多面的・多角的に考察している。</p> <p>・厳しい自然環境を克服し、発展させていたための努力を多面的・多角的に考察している。</p> <p>・果樹栽培や漁業の発展がもたらした地域の人々の生活の変化について多面的・多角的に考察している。</p> <p>・工業の発達が東北地方の人々の生活をどのように変化したかを多面的・多角的に考察している。</p>	<p>・東北地方を伝統的な祭りや工芸品、町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもちて主体的に追究している。</p> <p>・東北地方の地域的特色や東北地方の課題、これからの東北地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。</p>
1 ・ 2	○日本の諸地域 「北海道地方」	6	<p>&lt;北海道地方&gt;</p> <p>1 北海道地方の自然環境</p> <p>2 雪とともにある北海道の人々の生活</p> <p>3 厳しい自然環境を克服してきた稲作</p> <p>4 自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業</p> <p>5 北国の自然を生かした観光業</p> <p>6 北海道地方のまとめ</p>	<p>・地図や雨温図、統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について、自然環境に注目した視点から地域的特色を理解している。</p> <p>・地図や雨温図から北海道地方の地形や気候の特色を適切に読み取り、北海道地方の地形や気候の特色を理解している。</p> <p>・景観写真などから北海道地方の人々の雪との関わりを読み取り、雪に対する工夫や生かす試みなどについて理解している。</p> <p>・さまざまな資料から、開拓によって農地を拡大してきた実態を読み取り、泥炭地の土地改良や稲の品種改良について理解している。</p> <p>・さまざまな資料から、北海道の畑作や酪農、漁業が大規模であることを読み取り、北海道の畑作や酪農、漁業の特色を理解している。</p> <p>・さまざまな資料から、北海道における観光業の発展と観光客の増加を読み取り、北国の自然を生かした観光業の特色を理解している。</p>	<p>・自然環境に注目した視点から北海道地方の自然環境の特色を多面的・多角的に考察している。</p> <p>・北海道地方における雪に対する課題の克服や雪の利用などについて多面的・多角的に考察している。</p> <p>・石狩平野が全国有数の米の生産地になった理由を、開拓の歴史に着目しながら多面的・多角的に考察している。</p> <p>・畑作や酪農、漁業の規模が大きく変化した理由を、厳しい自然環境との関わりに着目しながら多面的・多角的に考察している。</p> <p>・観光客の増加に伴う自然破壊の対策とエコツーリズムについて多面的・多角的に考察している。</p>	<p>・自然環境に注目した視点から、自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心をもち、北海道地方の特色を主体的に追究している。</p> <p>・北海道地方の地域的特色や北海道地方の課題、これからの北海道地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。</p>
2 ・ 3	○日本の諸地域のまとめ 【日本のさまざまな地域】 ○身近な地域の調査・地域の在り方	10	<p>&lt;日本のさまざまな地域のまとめ&gt; 各地方の振り返り テーマ学習</p> <p>&lt;身近な地域の調査・地域の在り方&gt; 調査テーマを決めよう 調べる方法を考えよう 実際に調査をしてみよう 資料を集めてさらに深めよう 調査結果をまとめて発表しよう 地域の調査の手法 地域の在り方</p>	<p>・各地方の自然環境や社会環境に着目して、各地方の地域的特色を整理している。</p> <p>・地図や景観写真、統計資料などを活用し、対象地域に関する疑問をとらえ、対象地域を調べる視点や調査テーマを決める手順を理解している。</p> <p>・調査テーマに対する予想が正しいかどうかを確かめる調査方法に活用できる適切な地図や景観写真、統計資料を収集し、調査テーマに対する予想が正しいかどうかを確かめる調査項目や調査方法について理解している。</p> <p>・調査した結果を適切に記録・活用し、聞き取り調査の方法を理解している。</p> <p>・文献などの調査結果から、地域の姿容を適切に読み取り、調査のまとめから対象地域の特色や課題を理解している。</p> <p>・調査結果を適切にわかりやすくレポートなどにまとめ、よりよい調査結果のまとめ方を理解している。</p>	<p>・各地方での問いを、学習の成果を生かして多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>・対象地域に関する疑問や調査するテーマを多面的・多角的に考察している。</p> <p>・調査テーマに対する予想やその予想が正しいかどうかを確かめる調査項目や調査方法を多面的・多角的に考察している。</p> <p>・より有効かつ効率的に野外調査が進むような工夫を多面的・多角的に考察している。</p>	<p>・学習を振り返り、各地方の地域的特色や課題、これからの各地方の在り方について主体的に追究し、解決しようとしている。</p> <p>・地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p> <p>・持続可能な社会をめざす一員であるという自覚をもち、持続可能な地域の在り方を主体的に追究・解決しようとしている。</p> <p>・「地域の在り方」の学習について、粘り強く考察・構想したり、学習の見通しを基に、自ら工夫・調整しながら主体的に学習に取り組むことができたかを振り返っている。</p>
		60	<p>3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上</p>	<p>○ワークシート ○レポート ○小テスト ○定期テスト</p>	<p>○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト</p>	<p>○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト</p>

社会(2年) 歴史的分野 R5 年間指導・評価計画

教科の目的

○我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、様々な情報を効果的に調べよめる技能を身に付けるようにする。  
 ○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、課題解決に向け思考・判断する力を付ける。  
 ○社会的事象について課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、国民主権を担う公民としての自覚を深める。

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ・ 5 ・ 6	○ヨーロッパ人との出会いと全国統一	8	1 中世ヨーロッパとイスラム世界 2 ルネサンスと宗教改革 3 ヨーロッパ世界の拡大 4 ヨーロッパ人との出会い 5 織田信長・豊田秀吉による統一事業 6 兵農分離と秀吉の対外政策 7 桃山文化 8 ヨーロッパ人との出会いと全国統一のまとめ	・中世のヨーロッパ世界と同時期のイスラムの世界の成立と、両者の関係を理解している。 ・ルネサンスと宗教改革がヨーロッパ世界に及ぼした変化を理解している。 ・ヨーロッパの様々な文物やキリスト教が、日本社会に広まっていく様子を理解している。 ・織田信長と豊田秀吉による統一事業の過程を理解している。 ・ヨーロッパ人の来航によって生まれた新しい文化について理解している。 ・豊田秀吉がキリスト教の信仰自体は禁止せず、貿易を続けていたことを理解している。	・ヨーロッパ人がアジアを目指した理由を考察し、表現している。 ・織田信長の政策が商業を発達させたことを考察し、表現している。 ・兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、中世の社会と比較して考察し、表現している。 ・桃山文化の特色を、生活に根ざした文化の広がりが武将・豪商の経済力、中世の文化の継承などの視点から考察し、表現している。	・世界の動きと統一事業について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
6 ・ 7 ・ 8	○江戸幕府の成立と鎖国	5	1 江戸幕府の成立と支配のしくみ 2 さまざまな身分と暮らし 3 貿易の振興から鎖国へ 4 鎖国下の対外政策 5 江戸幕府の成立と鎖国のまとめ	・「主な大名の配置」などの資料から大名統制の方法を読み取って理解している。 ・「身分別の人口の割合」「都市と農村の支配の仕組み」などから、江戸時代の身分とそれぞれの職分や自治の様子を理解している。 ・島原・天草一揆以後に幕府がとった対策と、それが人々の生活に与えた影響を理解している。 ・オランダ・中国とは正式な国交はなく、長崎において貿易が行われていたことを理解している。 ・琉球が薩摩藩に支配されるとともに、中国と朝貢貿易を行っていたことを理解している。	・江戸幕府が17世紀の前半に対外政策を変化させて「鎖国」した理由を、宗教の統制、外交と貿易の統制、大名の統制などから考察し、表現している。 ・江戸時代が約260年続いた理由を、幕府の諸政策の目的と関連付けて考察し、表現している。	・江戸幕府の成立と対外関係について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
			1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	○ワークシート ○レポート ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト
8 ・ 9	○江戸幕府の成立と鎖国	4	1 江戸幕府の成立と支配のしくみ 2 さまざまな身分と暮らし 3 貿易の振興から鎖国へ 4 鎖国下の対外政策	・「主な大名の配置」などの資料から大名統制の方法を読み取って理解している。 ・「身分別の人口の割合」「都市と農村の支配の仕組み」などから、江戸時代の身分とそれぞれの職分や自治の様子を理解している。 ・島原・天草一揆以後に幕府がとった対策と、それが人々の生活に与えた影響を理解している。 ・オランダ・中国とは正式な国交はなく、長崎において貿易が行われていたことを理解している。 ・琉球が薩摩藩に支配されるとともに、中国と朝貢貿易を行っていたことを理解している。	・江戸幕府が17世紀の前半に対外政策を変化させて「鎖国」した理由を、宗教の統制、外交と貿易の統制、大名の統制などから考察し、表現している。 ・江戸時代が約260年続いた理由を、幕府の諸政策の目的と関連付けて考察し、表現している。	・江戸幕府の成立と対外関係について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
9 ・ 10 ・ 11	○産業の発達と幕府政治の動き	7	1 農業や諸産業の発達 2 交通路の整備と都市の繁栄 3 幕府政治の安定と元禄文化 4 享保の改革と社会の変化 5 田沼の政治と寛政の改革 6 新しい学問と化政文化 7 外国船の出現と天保の改革	・各地に特産物が見られるようになった理由を、農業や諸産業の発達と関連付けて考察し、表現している。 ・産業や交通の発達によって貨幣経済が進展し、財力をつけた町人の力が増え、いったんことを理解している。 ・徳川綱吉の政治が、それまでの武断政治から文治政治へと転換したことを理解している。 ・徳川吉宗の改革について、そのあらましを理解している。 ・蝦夷地や樺太などの北方探検が、ロシアの南下に対するものであったことを理解している。 ・化政文化が江戸の町人を中心とする文化であることを理解している。 ・外国船の接近とそれに対する幕府の対応について、幕府に新たな課題が生じたことを理解している。	・各地に特産物が見られるようになった理由を、農業や諸産業の発達と関連付けて考察し、表現している。 ・江戸時代に交通や都市が発達した理由を、幕府や藩の政治の仕組み、物資の流通などから考察し、表現している。 ・社会の変化と百姓一揆・打ちこわしの発生件数との関係を考察し、表現している。 ・田沼意次と松平定信の政治について、その背景を踏まえて財政政策の違いなどを考察し、表現している。 ・国学と蘭学が社会に与えた影響を考察し、表現している。 ・大塩平八郎が乱を起こした理由や、天保の改革の内容について、幕府政治が行き詰まっていたことを考察し、表現している。	・産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、ここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
11 ・ 12	○欧米における近代化の進展  ○欧米の進出と日本の開国	9	1 イギリスとアメリカの革命 2 フランス革命 3 ヨーロッパにおける国民意識の高まり 4 ロシアとアメリカの発展 5 産業革命と資本主義  1 欧米のアジア侵略 2 開国と不平等条約 3 開国後の政治と経済 4 江戸幕府の滅亡	・イギリスとアメリカが近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解している。 ・フランスが近代革命を経て近代国家を形成していった過程を理解している。 ・ヨーロッパで国民国家が形成されていく過程と中南米諸国の独立を理解している。 ・産業革命による変化と資本主義社会の成立が、ヨーロッパ諸国に広がっていく過程を理解している。 ・ロシアとアメリカ合衆国が領土を拡大し、発展していく過程を理解している。 ・イギリスのアジア進出によって起こったアヘン戦争やインドの大反乱を理解している。 ・日本の開国のきっかけや、日米修好通商条約の内容を理解している。 ・尊王攘夷運動や桜田門外の変、開国後の貿易の様子を理解している。 ・大政奉還が行われ、江戸幕府が減ぶまでに起こった主な出来事を理解している。	・イギリスとアメリカの政治の変化と現代の政治とのつながりを考察し、表現している。 ・フランスの政治の変化と現代の政治とのつながりを考察し、表現している。 ・フランス革命の影響とヨーロッパにおける国民意識の高まりを考察し、表現している。 ・産業革命が欧米諸国に与えた影響を考察し、表現している。 ・アメリカ合衆国の発展の一方で、先住民の強制移住や黒人への人種差別などの問題があったことを考察し、表現している。 ・欧米諸国のアジア進出の理由と背景や、アジア諸国の対応と変化を考察し、表現している。 ・江戸幕府が開国した理由や、欧米諸国と結んだ外交関係を考察し、表現している。 ・開国による政治的及び社会的な影響を、人々の生活との関わりから考察し、表現している。 ・薩摩藩や長州藩、会津藩の動きと幕府政治の推移、開国による人々の生活の変化を考察し、表現している。	・欧米における近代社会の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・アジア諸国の動き、明治維新について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
			2学期 評価方法・評価場面 A おおむね80%以上 B おおむね50%以上	○ワークシート ○レポート ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト						
1 ・ 2	○明治維新	8	1 新政府の成立 2 明治維新の三大改革 3 富国強兵と文明開化 4 近代的な国際関係 5 国境と領土の確定 6 領土をめぐる問題の背景 7 自由民権運動の高まり 8 立憲制国家の成立	・新政府が成立し、近代国家の基礎が整えられていったことを理解している。 ・学制・兵制・税制の改革の内容を理解している。 ・近代的な産業発展のために政府が進めた富国強兵・殖産興業政策の内容を理解している。 ・錦絵に描かれた、開国後に日本に入ってきた文物や習慣を理解している。 ・新政府が行った岩倉使節団の派遣や、清や朝鮮への外交政策を理解している。 ・国境と領土の確定について、北海道や沖縄などに対して新政府が行った政策を理解している。 ・竹島、北方領土、尖閣諸島の領有の歴史的な経緯と日本政府の見解を理解している。 ・自由民権運動のおこりや政党の結成、激化事件に至る過程を理解している。 ・憲法の制定過程とその内容の特徴、選挙制度などを理解している。	・明治維新によって、幕藩体制や身分制度がどのように変化したかを考察し、表現している。 ・新政府が行った学制・兵制・税制の改革の影響を、江戸時代の制度と比較しながら考察し、表現している。 ・文明開化の風潮について、社会の様子や人々の生活が大きく変化したことを、江戸時代と比較しながら考察し、表現している。 ・資料の読み取りから、文明開化の頃の社会の様子を考察し、表現している。 ・新政府が行った外交政策について、欧米諸国やアジア諸国との関係から考察し、表現している。 ・蝦夷地と琉球王国が日本に組み込まれる過程について考察し、表現している。 ・これらの島の領有に関する各国の主張も踏まえ、我が国の固有の領土である背景を考察し、表現している。 ・自由民権運動から憲法制定に至るまでの時期について、民権側と政府側の立場からそれぞれの主張を考察し、表現している。 ・大日本帝国憲法の制定過程とその内容の特色を踏まえ、その特色と現代とのつながりを考察し、表現している。	・明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
2 ・ 3	○日清・日露戦争と近代産業	4	1 欧米列強の侵略と条約改正 2 日清戦争 3 日露戦争 4 韓国と中国 5 産業革命の進展 6 近代文化の形成	・欧米諸国の植民地獲得競争、日清戦争に至る背景としての東アジアの情勢を理解している。日清戦争に至る動き、戦争のあらましと国内外の対応を理解している。 ・日露戦争に至る動き、戦争のあらましと国内外の対応を理解している。 ・韓国の植民地化と中華民国が建国される過程を理解している。近代産業が発展して資本主義の基礎が固まったことを理解している。 ・近代文化が形成されたことを、学問・教育・科学・芸術の発展を通して理解している。	・条約改正について、長年にわたる課題として取り組まれたことを、背景を踏まえて考察し、表現している。 ・日清戦争の日本や清への影響を考察し、表現している。 ・日露戦争の日本や世界への影響について、日清戦争と比較しながら考察し、表現している。 ・韓国や中国の国内での動き、政治の変化について考察し、表現している。 ・産業と資本主義の発展によって、日本で発生した社会問題を考察し、表現している。 ・近代文化は、伝統的な文化の上に欧米文化を受容して形成されたことを考察し、表現している。	・議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						
		45	3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	○ワークシート ○レポート ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト	○ワークシート ○グループ活動 ○レポート ○発表学習 ○小テスト ○定期テスト						

○我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、様々な情報を効果的に調べるとする技能を身に付けるようにする。  
 ○社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、課題解決に向け思考・判断する力を付ける。  
 ○社会的事象について課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、国民主権を担う公民としての自覚を深める。

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	歴史的分野 第5章 開国と近代日本の歩み 第3節 日清・日露戦争と近代産業	8	<日清・日露戦争と近代産業> 1 欧米列強の侵略と条約改正 2 日清戦争 3 日露戦争 4 韓国と中国 5 産業革命の進展 6 近代文化の形成 ・水平社、足尾銅山、・第5章のまとめ	・欧米諸国の植民地獲得競争と東アジアの情勢を背景に、日清、日露戦争に至る動き、国内外の対応、戦後の韓国の植民地化と中華民国が建国される過程を理解している。 ・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。 ・近代産業が発展して資本主義の基礎が固まったこと、近代文化が形成されたことを、学問・教育・科学・芸術の発展を通して理解している。 ・明治時代の主な歴史的事象を理解している。口	・条約改正について、長年にわたる課題として取り組まれたことを、背景を踏まえて考察し、表現している。(思判表) ・日清、日露戦争に至った理由、韓国や中国の政治の変化について、欧米諸国のアジア進出や資本主義の発展と関連付けて考察し、表現している。 ・日本で発生した社会問題を、産業と資本主義の発展と関連付け、近代文化は、伝統的な文化の上に欧米文化を受容して形成されたことを考察し、表現している。 ・近代(前半)の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	・近代(前半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・議会政治の始まりと国際社会との関わり、近代産業の発展と近代文化の形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・この時代の出来事について、テーマを選び、様々な事象と関連付けて調べている。						
5 ・ 6	第6章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と日本 2 世界恐慌と日本の中国侵略 3 第二次世界大戦と日本	22	<第一次世界大戦と日本> 1 第一次世界大戦 2 ロシア革命 3 国際協定の高まり 4 アジアの民族運動 5 大正デモクラシーと政党内閣の成立 6 広がる社会運動と普通選挙の実現 7 新しい文化と生活 <世界恐慌と日本の中国侵略> 1 世界恐慌とブロック経済 2 欧米の情勢とファシズム 3 昭和恐慌と政党内閣の危機 4 満州事変と軍部の台頭 5 日中戦争と戦時体制 <第二次世界大戦と日本> 1 第二次世界大戦の始まり 2 太平洋戦争の開始 3 戦時下の人々 4 戦争の終結 ・水平社、オリンピック・パラリンピック ・第6章のまとめ、戦争へのターニングポイント	・第一次世界大戦の概要、ロシア革命の背景と経過、計画経済、国際連盟の設立と抱えた課題や問題点、ヨーロッパの変化を理解している。 ・大正デモクラシーの思想や動きの概要、普通選挙の実現、関東大震災の概要と、大正期の教育と文化の特徴を理解している。 ・世界恐慌の概要と欧米諸国の対応、ファシズムの台頭と関連させながら、満州事変から国際連盟脱退までの経緯、日本が日中戦争に向かった理由、戦争の経過、国民生活が統制された状況を理解している。 ・第二次世界大戦の原因と、世界や日本への影響、植民地や占領地における状況、イタリア・ドイツの降伏、沖縄戦、原爆投下などの戦争終結までの概要を理解している。 ・「解放令」後の、差別された人々の状況、「部落改善運動」の内容について理解している。 ・第二次世界大戦の原因と、世界や日本への影響、植民地や占領地における状況、イタリア・ドイツの降伏、沖縄戦、原爆投下などの戦争終結までの概要を理解している。(知技)	ロシア革命の様子、革命に対する世界や日本の動き、大戦後の国際協調や民主主義の動きを、大戦の規模や犠牲者の数などと関連付けて考察し、表現している。 ・第一次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を、アジアにおける民族運動、ベルサイユ条約の内容、大正デモクラシーの思想などと関連付けて考察し、表現している。 ・世界恐慌の原因を資本主義経済の仕組みと関連付け、軍部の主張や国民の生活を捉え、政党内閣が信頼を失っていった理由、日本の進路について考察し、表現している。 ・日本が日中戦争に向かった理由、日独伊三国同盟を結んだ日本の行動について、国際的な視野を踏まえて考察し、表現している。(思判表) ・日本が太平洋戦争に向かった理由について、日米の国力差や資源の量、占領した地域と関連付けて考察し、表現している。 ・第二次世界大戦の原因と、世界や日本への影響を、大戦下の国民生活と関連付けて考察し、表現している。	・近代(後半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・第一次世界大戦前後の国際情勢、人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・第二次世界大戦と人類への惨禍について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・近代(後半)の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。(態度) ・この時代の出来事について、テーマを選び、様々な事象と関連付けて調べている。						
6 ・ 7	第7章 現代の日本と世界 1 戦後日本の発展と国際社会 2 新たな時代の日本と世界	12	<戦後日本の発展と国際社会> 1 占領下の日本 2 民主化と日本国憲法 3 冷戦の開始と植民地の解放 4 独立の回復と55年体制 5 緊張緩和と日本外交 6 日本の高度経済成長 7 マスメディアと現代の文化 <新たな時代の日本と世界> 1 冷戦後の国際社会 2 変化の中の日本 3 持続可能な社会に向けて ・深めよう 第7章のまとめ	・冷戦、我が国の民主化と再建の過程、国際社会への復帰などを基に、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解している。 ・高度経済成長、国際社会との関わり、冷戦の終結などを基に、我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解している。 ・冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本の民主化と冷戦下の国際社会、日本の経済の発展とグローバル化する世界について、現代の社会の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・現代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・日本の民主化について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・冷戦下の国際社会、日本の経済の発展について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・日本の経済の発展とグローバル化する世界について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。						



月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
7 ・ 8 ・ 9	公民的分野 第1章 現代社会と私たち 1節 現代社会の特色と私たち 2節 私たちの生活と文化 3節 現代社会の見方や考え方	17	<p>・公民学習の初めに「持続可能な社会の実現」</p> <p>・現代社会をながめてみよう</p> <p>&lt;現代社会の特色と私たち&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 持続可能な社会に向けて</li> <li>2 グローバル化 結び付きを深める世界</li> <li>3 少子高齢化 変わる人口構成と家族</li> <li>4 情報化 情報が変わる社会の仕組み</li> </ol> <p>新しい情報技術で社会が変わる</p> <p>&lt;私たちの生活と文化&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 私たちの生活と文化の役割</li> <li>2 伝統文化と新たな文化の創造</li> <li>3 多文化共生を目指して</li> </ol> <p>&lt;現代社会の見方や考え方&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会集団の中で生きる私たち</li> <li>2 決まりを作る目的と方法</li> <li>3 効率と公正</li> <li>4 決まりの評価と見直し</li> </ol> <p>・第1章のまとめ、自転車の使用ルールを考えよう</p> <p>□</p>	<p>・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。</p> <p>・現代社会における文化の意義や影響について理解している。</p> <p>・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。</p> <p>・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。</p> <p>・少子化の原因として考えられることを本文の読み取りを通して理解している。</p> <p>・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。</p>	<p>・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・グローバル化の進展で生活や社会が豊かで便利になった点や、課題について考察し、表現している。</p> <p>・ルールを見直す際の見直し方について対立と合意、効率と公正に着目して考察している。</p>	<p>・私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>・現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>・持続可能な社会の実現に向けて私たちに何ができるかについての考察に、章の学習の見直しを持って取り組もうとしている。</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックへの関心を高め、世界に発信したいと考える日本の文化の学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>・この時代の出来事について、テーマを選び、様々な事象と関連付けて調べている。</p>						
			<p>1学期 評価方法・評価場面</p> <p>A 80%以上</p> <p>B 50%以上</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○レポート</p> <p>○小テスト、休み明けテスト</p> <p>○定期テスト</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○グループ活動</p> <p>○レポート</p> <p>○発表学習</p> <p>○小テスト、休み明けテスト</p> <p>○定期テスト</p>	<p>○ワークシート</p> <p>○ノート</p> <p>○発表学習</p> <p>○グループ活動</p> <p>○レポート</p> <p>○発表学習</p> <p>○定期テスト、休み明けテスト</p>						
9 ・ 10	第2章 個人の尊厳と日本国憲法 1節 人権と日本国憲法 2節 人権と共生社会 3節 これからの人権保障	17	<p>&lt;人権と日本国憲法&gt;</p> <p>・ちがいのちがい</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人権の歴史と憲法</li> <li>2 日本国憲法とは</li> <li>3 国民主権と私たちの責任</li> <li>4 平和主義の意義と日本の役割</li> </ol> <p>5 基本的人権と個人の尊重</p> <p>&lt;人権と共生社会&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平等権① 共生社会を目指して</li> <li>2 平等権② 共生社会を目指して</li> <li>3 自由権 自由に生きる権利</li> <li>4 社会権 豊かに生きる権利</li> <li>5 人権を確実に保障するための権利</li> <li>6 「公共の福祉」と国民の義務</li> </ol> <p>&lt;これからの人権保障&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新しい人権① 産業や科学技術の発展と人権</li> <li>2 新しい人権② 情報化の進展と人権</li> <li>3 グローバル社会と人権</li> </ol> <p>・第2章のまとめ ちがいのちがい</p> <p>・アイヌ民族、・共生社会</p>	<p>○人間の尊厳についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。</p> <p>○日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に關する行為について理解している。</p> <p>・人権思想と憲法の歴史の学習を踏まえ、人権と憲法の関係から法の支配について理解している。</p> <p>・日本国憲法の三つの基本原理について、本文の読み取りを通して理解している。</p> <p>・国民主権とは、どのようなことを意味しているか、本文の読み取りを通して理解している。(知技)</p> <p>・現在も日本に残っている差別の例を本文の読み取りを通して理解している。(知技)</p>	<p>○対立と合意、効率と公正、個人の尊厳と法の支配、民主主義などに着目して、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・立憲主義が重要な理由を、人の支配と法の支配の違いや憲法の役割に着目して、適切に表現している。(思判表)</p> <p>・日本国憲法の仕組みの特色を、大日本帝国憲法との違いに着目して適切に表現している。(思判表)</p> <p>・国民主権が重要な理由を、学習した内容を活用し、法の支配に着目して適切に表現している。(思判表)</p> <p>・国際平和のために日本が果たす役割について、自衛隊の活動や、被爆国としての日本の立場を踏まえて、表現している。</p> <p>・基本的人権の保障に必要なことを、個人の尊厳や法の下での平等と関連付け、差別をなくすために重要なことを、個人の尊厳の観点から考察し、表現している。</p>	<p>・人間の尊厳についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>・日本国憲法が保障する権利を守るために、私たちがどのように社会に関わるべきか自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>・日本国憲法が大切にされてきた理由について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>・具体的な事例を基に、日本国憲法で人権を保障することが大切な理由を、自らの学習を振り返りながら粘り強く考察することを通して、主体的に社会に関わろうとしている。(態度)</p> <p>・具体的な事例を基に、新しい人権が認められてきた理由の考察に自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。(態度)</p>						
10 ・ 11	第3章 現代の民主政治と社会 1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み 3節 地方自治と私たち	23	<p>&lt;現代の民主政治&gt;</p> <p>・だれを市長に選ぶ？</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 政治と民主主義</li> <li>2 選挙の意義と仕組み</li> <li>3 政党の役割</li> <li>4 マスメディアと世論</li> </ol> <p>5 選挙の課題と私たちの政治参加 選挙の流れ</p> <p>&lt;国の政治の仕組み&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 国会の地位と仕組み</li> <li>2 法律や予算ができるまで</li> <li>3 行政を監視する国会</li> <li>4 行政の仕組みと内閣</li> <li>5 行政の役割と行政改革</li> <li>6 裁判所の仕組みと働き</li> <li>7 裁判の種類と人権</li> <li>8 裁判員制度と司法制度改革 模擬裁判</li> <li>9 三権の抑制と均衡</li> </ol> <p>&lt;地方自治と私たち&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 私たちの生活と地方自治</li> <li>2 地方自治の仕組み</li> <li>3 地方公共団体の課題</li> <li>4 住民参加の拡大と私たち 政治参加</li> </ol> <p>・第3章のまとめ 市長になって条例を作ろう</p> <p>・東日本大震災からの復興 空き家・廃校</p>	<p>○国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのありましや政党の役割、議院制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方について理解している。</p> <p>○国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。(知技)</p> <p>○地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。</p> <p>・日本で行われている選挙の基本原則や、政党政治の特徴を、本文の読み取りを通して理解している。(知技)</p> <p>・衆議院と参議院の違い、内閣の主な仕事について、本文や資料の読み取りを通して理解している。(知技)</p> <p>・裁判所の種類とそれぞれが行っている裁判、裁判員が、裁判官とともに担当する役割、三権がたがいに抑制し合っている内容について本文や資料の読み取りから理解している。</p> <p>・地方議会や首長が果たしている役割について、本文の読み取りを通して理解している。(知技)</p>	<p>○対立と合意、効率と公正、個人の尊厳と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>・選挙が果たしている役割、国民と政党の関係について、民主主義に着目して考察し、表現している。</p> <p>・国会が「国権の最高機関」とされている理由、日本の内閣と国会との関係について、考察し、表現している。</p> <p>・司法権の独立の原則が必要な理由、裁判員制度や取り調べの可視化が導入された理由について、個人の尊厳に着目して考察し、表現している。</p> <p>・三権分立が採られている理由について、人権の観点から考察している。</p> <p>・地方自治での二元代表制の特徴について、国の政治との違いに着目して考察し、表現している。住民参加が重要な理由について、民主主義の観点から考察している。</p>	<p>・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>・民主主義に基づく政治についての考察に、章の学習の見直しを持って取り組もうとしている。(態度)</p> <p>・具体的な選挙の手続きを調べることを通して、主体的に政治に参加しようとしている。(態度)</p> <p>・主権者として、裁判員制度への参加を通して主体的に社会に関わろうとしている。(態度)</p> <p>・民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。(態度)</p>						

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11・12	第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と市場経済	6	<p>&lt;消費生活と市場経済&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの消費生活 契約と消費生活・コンビニエンスストアの経営者になってみよう</li> <li>2 私たちの消費生活</li> <li>3 消費生活と消費生活</li> <li>4 消費者の権利を守るために</li> <li>[18歳へのステップ] 契約のあれこれ</li> <li>消費生活を支える流通</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解し、コンビニエンスストアの立地について具体的な事例を整理し、自らの考えとともに表(マトリックス)にまとめている。</li> <li>・消費者主権、消費者の権利を守るための制度や法律について、本文の読み取りを通して理解している。身近な地域にある、流通に関連した仕事について理解している。</li> <li>・1節の学習内容を基に、身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より良い消費生活を送るために必要なこと、契約を結ぶ際に注意すべき点について、自由や義務に着目して考察し、表現している。</li> <li>・流通の合理化がもたらす影響について考察している。</li> <li>・1節の学習内容を振り返って、対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、消費生活や流通に関する様々な事例を基に、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニエンスストアの立地について考える活動を通して、私たちと経済との関わりについての考察に向けて、章の学習の見通しを持って取り組もうとしている。</li> <li>・消費者の一人として、契約を結ぶ際の注意点に関心を持ち、より良い消費生活に向けて主体的に社会に関わろうとしている。</li> </ul>
			<p>2学期 評価方法・評価場面</p> <p>A 80%以上 B 50%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシート</li> <li>○レポート</li> <li>○小テスト、休み明けテスト</li> <li>○定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシート</li> <li>○グループ活動</li> <li>○レポート</li> <li>○発表学習</li> <li>○小テスト、休み明けテスト</li> <li>○定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシート</li> <li>○ノート</li> <li>○グループ活動</li> <li>○レポート</li> <li>○発表学習</li> <li>○定期テスト、休み明けテスト</li> </ul>
12・1	第4章 私たちの暮らしと経済 2節 生産と労働 3節 市場経済の仕組みと金融 4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	18	<p>&lt;生産と労働&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 生産活動と企業</li> <li>2 企業の種類</li> <li>3 株式会社と労働者の権利</li> <li>4 労働環境の変化と課題</li> </ul> <p>&lt;市場経済の仕組みと金融&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 市場経済と価格の決まり方</li> <li>2 価格の働き</li> <li>3 貨幣の役割と金融</li> <li>4 私たちの生活と金融機関</li> <li>5 景気と金融政策</li> <li>6 グローバル経済と金融</li> </ul> <p>&lt;財政と国民の福祉&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 私たちの生活と財政</li> <li>2 財政の役割と課題</li> <li>3 社会保障の仕組み</li> <li>4 少子高齢化と財政</li> </ul> <p>&lt;これからの経済と社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 公害の防止と環境の保全</li> <li>2 経済の持続可能性と真の豊かさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な消費生活を中心とする経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、市場における価格の決まり方や資源の配分、現代の生産や金融の仕組みや働きを理解している。</li> <li>・労働者の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、これらの意義を理解している。</li> <li>・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。</li> <li>・消費者主権とはどのようなことを意味しているか、本文の読み取りを通して、理解している。</li> <li>・円高、円安とはどのような状態か理解している。</li> <li>・私たちが日常生活の中で納めている税金について理解している。</li> <li>・四大公害病の経緯や地球環境問題、それらを防止するための住民や国、地方公共団体、企業の取り組みについて、具体的な事例を通して理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・商品の価格が円高、円安によってどのように変動するか考察している。</li> <li>・希少性と価格との関係について、需要量と供給量を関連付けながら考察し、表現している。</li> <li>・憲法で、国民に納税の義務がある理由について、税金の役割に着目して考察し、表現している。</li> <li>・循環型社会を実現し、環境を保全するためにどうすべきか、持続可能性の観点から、自分事として考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</li> <li>・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</li> <li>・消費者の一人として、契約を結ぶ際の注意点に関心を持ち、より良い消費生活に向けて主体的に社会に関わろうとしている。(態度)</li> <li>・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。(態度)</li> <li>・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。(態度)</li> <li>・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとしている。(態度)</li> </ul>
1・2	第5章 地球社会と私たち 1節 国際社会の仕組み 2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本	14	<p>&lt;国際社会の仕組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 国際社会における国家</li> <li>2 領土をめぐる問題の現状 問題の解決に向けて</li> <li>3 国際連合の仕組みと役割</li> <li>4 地域主義の動き</li> <li>5 新興国の台頭と経済格差</li> </ul> <p>&lt;様々な国際問題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 地球環境問題</li> <li>2 資源・エネルギー問題 限りある資源と環境への配慮</li> <li>3 貧困問題 公正な世界を創る</li> <li>4 新しい戦争 平和な世界に向けて</li> <li>5 難民問題</li> </ul> <p>&lt;これからの地球社会と日本&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 世界と協力する日本</li> <li>2 より良い地球社会を目指して</li> <li>・まとめの活動 はちみつ争い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協力の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際、領土、国家主権、国際連合の動きなどについて理解している。</li> <li>・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などの大切さを理解している。</li> <li>・市場経済の基本的な考え方、市場における価格の決まり方や資源の配分、現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。</li> <li>・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、これらの意義を理解している。</li> <li>・国家の三つの要素のうちの領域と主権がどのようなものか、竹島、北方領土、尖閣諸島をめぐる問題の起こった経緯や現状を本文や資料の読み取りを通して理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、我が国の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・国際法が国際社会の中で重要な理由を、協調に着目して考察し、地理や歴史での学習をふまえて、領土問題の解決策について考察し、表現している。</li> <li>・国際連合の活動に対する日本の役割について、国連の役割に着目して考察し、表現している。</li> <li>・地域主義で国際協力の体制が作られることの利点と課題、発展途上国に求められる援助について持続可能性の観点から考察している。</li> <li>・地球環境問題の解決のために重要なこと、世界のエネルギー問題の解決に向けて、日本が果たすべき役割について、協調や持続可能性の観点から考察し、表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界平和と人類の福祉の増大について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</li> <li>・地球規模の課題の解決にむけて、章の学習に見通しを持って取り組もうとしている。</li> <li>・日本のエネルギー政策についての学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。</li> </ul>
2.3	終章 より良い社会を目指して	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 持続可能な社会の形成者として</li> <li>2 持続可能な社会を実現するために</li> <li>3 探究を続ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会を実現するためには、様々な社会の課題を解決することが必要であることを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な見方・考え方を働かせ、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察し、自分の考えを説明、論述している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</li> </ul>
		##	<p>3学期 評価方法・評価場面</p> <p>A 80%以上 B 50%以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシート</li> <li>○レポート</li> <li>○小テスト、休み明けテスト</li> <li>○定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシート</li> <li>○グループ活動</li> <li>○レポート</li> <li>○発表学習</li> <li>○小テスト、休み明けテスト</li> <li>○定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ワークシート</li> <li>○ノート</li> <li>○グループ活動</li> <li>○レポート</li> <li>○発表学習</li> <li>○定期テスト、休み明けテスト</li> </ul>